

「のれん分け」による新規就農者の育成 ～漬物用大根の産地維持に向けて～

発表者：(株)野崎ファーム 野崎偉世
藤本広太

はじめに(地域農業)

■ 宮崎特産「天日干し大根」 国内有数のたくあん原料産地

■ 2021年日本農業遺産認定 宮崎の太陽と風が育む「干し野菜」と露地畑作の高度利用システム（田野・清武地域）

■ 畑作が盛んな地域（大根・サツマイモ・サトイモ・葉タバコなど）



株式会社 野崎ファーム(取組主体)



- 設立 2020年2月
- 事業 漬物用原料生産
- 耕作地 宮崎市清武町など 約8ha
- 従業員 社員4名 特定技能実習生13名
- 品目 白首大根（生・天日干し）
高菜・なたまめ など

2020年2月 株式会社野崎ファーム設立

9月 原料生産開始

2025年4月 研修農場（トレーニングファーム）整備
研修生（就農候補生）1名研修開始

取組の背景・きっかけ

現状・課題

- 生産者の減少・高齢化
- 後継者不足・新規参入者不足
- 生産資材・人件費の上昇
- 気候変動による収量減少
- 漬物消費量減少 など

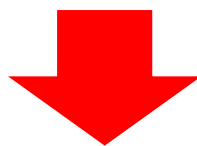


近い将来…

- 産地の消滅
- 地域農業・産業の衰退
- 漬物文化の衰退

産地維持・強化が急務！

農業を始めたい人が安心して就農できる仕組み作り

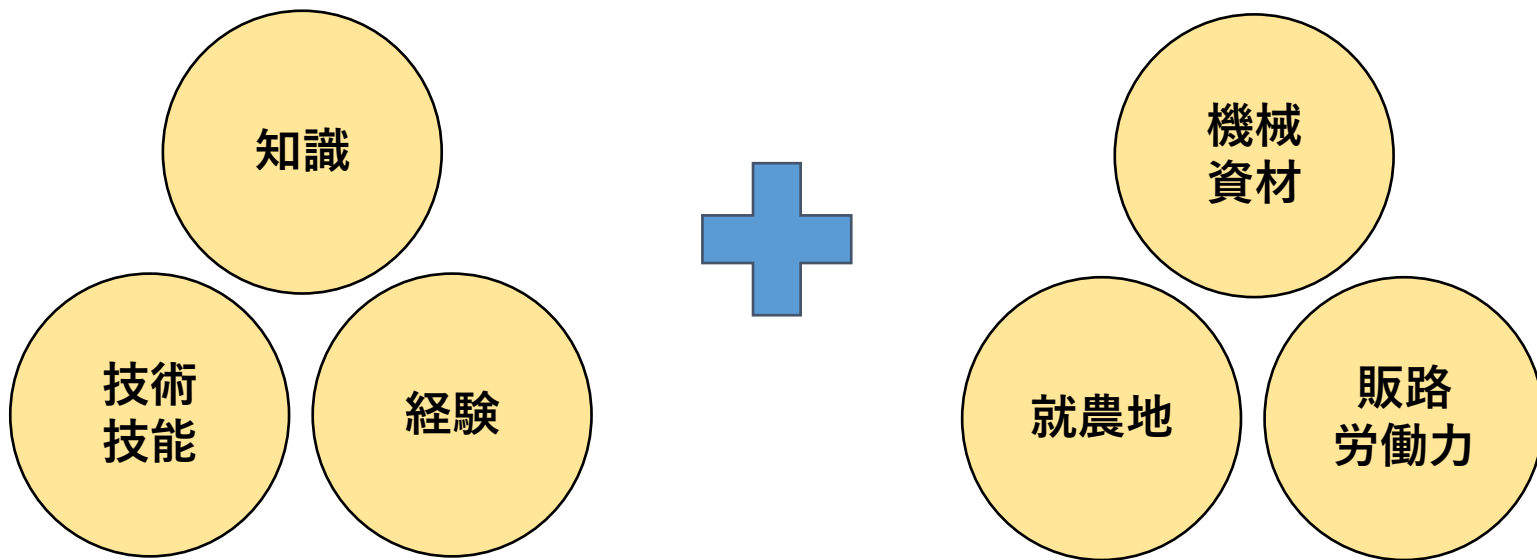


トレーニングファーム構築

トレーニングファーム概要

トレーニングファーム (雇用研修+のれん分け)

- 野崎ファームで雇用し1～2年実践研修しその後独立就農を目指す
- 研修で使用した機械や資材・農地を引き継ぐのれん分け就農
- ファーム設立時の課題や反省を活かしてトータルサポート！



取組のポイント①

資材・機械の確保

→ 離農する契約生産者から資材・機械を引継ぎ、
研修に活用。独立後も共同利用や貸付可能



取組のポイント②

農地の事前確保・集約

→地域と連携し農地を集約・確保（2～3ha）
就農まで賃借・管理し就農地を準備・提供



取組のポイント③

販路確保・労働力支援

→就農後、漬物用原料であれば全量買取も可能
外国人人材の活用も支援



研修スケジュール（1年）

1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
天日干し大根																					天日干し大根																							
						生漬用大根（春）											生漬用大根（秋）																											
高菜						なたまめ																				高菜																		

研修内容	講義など
4月 大根作付け準備（耕運・深耕作業など）	座学：栽培基礎と日本農業遺産について
大根播種作業	
5月 大根収穫作業	座学：農業機械の操作と安全作業
大根収穫・加工作業	座学：漬物加工について
6月 管理作業（耕運・草刈り作業など）	農地・管理作業での注意点について
7月 管理作業（耕運・草刈り作業など）	作付・収支計画の作成について
	近隣生産者との意見交換
8月 管理作業（耕運・草刈り作業など）	
作付準備（土壌消毒・堆肥散布など）	
9月 大根播種作業	座学：大根槽の構造
10月 大根播種作業	座学：販売とブランディング
11月 大根槽の設置作業	
大根収穫作業	
12月 大根収穫作業	
1月 大根収穫作業	
2月 大根収穫作業	
3月 管理作業（耕運・草刈り作業など）	1年のまとめ

■雇用型で安定研修

■2年目以降

レベルアップした研修

- ・従業員への指導
- ・収支計画の作成
- ・新規品目の検討 など

民間主導の研修・支援体制の構築

雇用研修+のれん分けで トータルサポートを実現！

- 販路 漬物用原料の全量買い取り
- 農地 就農地の事前確保（2～3 ha）
- 労働力 外国人材の活用も可能（監理団体での支援）
- +技術 干し大根生産連携組合との連携・サポート

POINT



住居も提供



PICK UP 研修生の声

- 農業高校で大根やぐらPRに携わり、農大卒業後干し大根生産の伝統を引き継ぐことを嬉しく思います！
- 技術だけでなく地域とのつながりを学び、1人前の経営者になりたいです！



まとめ（今後の取組予定、課題、目標）

目標・今後の取組

- 2026年 研修者1名 確保（目標）
研修圃場増設
- 2027年 のれん分け就農者1名（目標）
研修体制の強化・拡充

最終目標

新規就農者の確保・育成・独立・定着を一体的に
支援する体制を確立し産地・地域を守る

土地利用型品目での新規就農者確保について

担 手 農 地 対 策 課
担 手 確 保 担 当

- 就農地の事前確保及び新規就農者の誘致活動を強化することで、本県における土地利用型品目での新規就農者確保を促進
- 農業法人等によるのれん分けでの独立自営就農を前提とした、トレーニング体制を構築

